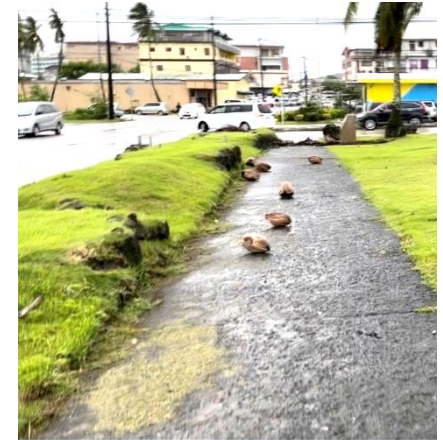




【パラオ日記】

★悪天候で学校が臨休ということは、あまりないパラオ。それでも大雨強風で朝から停電になった日は学校や政府機関がお休みになりました。私も家で過ごしていると、ドアの隙間から雨水が入ってきて、部屋がべちゃべちゃに…大変でした（泣）雨風が落ち着いた後に外に出てみると、道のあちこちにココナツの実が落ちていました。

★10月31日のハロウィンが終わると、次の日から大きなお店ではクリスマス商戦が始まりました。え、クリスマスって12月末だよね！？と突っ込みたくなる気持ちでいっぱいですが、アメリカの文化が強いパラオではクリスマス準備も本気です。気温も変わらず30℃前後なので、全く冬に向かって行っている感じがしませんが…



パラオで何をしているの？

2022年も残り1ヶ月となりましたね。この1年でなりたかった自分に少しでも近付くことができましたか。やりたかったことに挑戦できましたか。

さあ、タイトルの『パラオで何をしているの？』ですが、改めて振り返ってしっかりと説明せずにはいなあ…と反省しています。今更ですが、パラオではJICA 海外協力隊という立場で、現地の体育の先生方と一緒により良い授業を考えたり、実際に生徒たちと授業をするなどして活動しています。（実際の活動の様子は、別の形でみなさんにお伝えできるように…と準備中です！）

JICA 海外協力隊というのは、独立行政法人国際協力機構（通称 JICA）が行うボランティア派遣制度の一つです。開発途上国で現地の人々と共に生活をし、同じ目線で課題解決に貢献する活動を行うことを目的に派遣されています。言語の壁、文化の違い、力不足…そんなことを感じながら生活している日々ですが、周りの方の支えもあって、やりたかったことに挑戦できているので、勇気を出して決断、行動してよかったです。

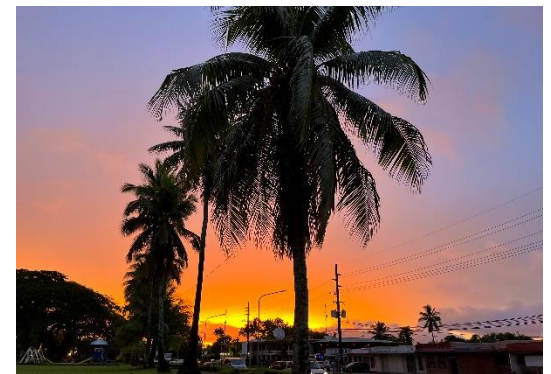
なあ…と思っています。今までの習慣を変えるのは大変なことです。失敗することもあります。でも、やってみなきゃ分からないこともたくさんあると分かりました。今年も残り1ヶ月、充実した日々を過ごしましょう！

時には、南国らしくビーチでの活動も。（笑）



Let's think together!

「南国」の象徴とも言えるヤシ（ココナツ）の木。パラオでは日常の景色の一部となっており、目にしない日はないほどです。そんなヤシの木ですが、パラオでは“The tree of Life（命の木）”と呼ばれています。それはなぜなのでしょう。



The tree of life ~命の木~

日本（特に北海道）でココナッツというと、お菓子に使われているかな…？くらいの印象しかないかもしれませんが、実だけではなく、葉や茎なども無駄なく使うことができるため、パラオをはじめとする南国の国々では、とても重宝されているようです。

ココナッツウォーターは栄養価や疲労回復効果も高い飲み物として知られています。マーケットなどでも売っており、1つ1.5ドル（約300円）ほ

どで買うことができます。また、ココナッツミルクを煮詰めて得られるココナッツオイルは各家庭で作られ、虫除けやヘアオイルとしても使われています。葉からは手編みでカゴを作り、食料を保存したり、物を運ぶのに使われています。伝統的な建物の屋根にも葉が使われていることがあります。さらに、頑丈な幹は住居を支える柱材として活用されています。実をとった後の殻も、繊維の部分はまとめて加工することで、ロープやたわしの材料になり、固い殻は焼くことで火力の強い炭としても使うことができるそうです。

パラオに来た際に受けたオリエンテーションでは、なるべくココナッツの木の下は歩かないようにと言われました。ある統計では、世界中で年間約150人もの方がココナッツが頭に落ちてきたことが原因で亡くなっているそうです。（本当なのかは分かりませんが…。）停めておいた車にココナッツが落ちてきて、車がへこんだということはよくあるようです。

北海道では見ることのないココナッツですが、パラオでは人々の生活を支えています。



今は使われていませんが、パラオの伝統的な建物です。こちらの屋根にもヤシの木の葉が使われています。南国感が漂っています。



ココナッツの葉を利用してカゴを作っているところです。とても器用に編んでいます。用途は様々です。



青空×ココナッツの木。まさに南国を感じさせる景色です。とても長い木もあれば、手が届くくらい短い木もあります。



ココナッツを割るには、頑丈な鉞が必要です。一度、ココナッツを買って普通の包丁で割ろうとしましたが、大変なことになりました。